



みなみせや

6月号

学校生活で教えてあげたいこと

校長 藤田 優

分散登校という形ではありますが、ようやく学校が再開しました。休業期間中には保護者の皆様に多大なるお力添えをいただき、本当にありがとうございました。まずは、子どもたちの心のケアを第一に考え、ゆっくりと学校生活を立ち上げていきたいと思えます。15日からは全員登校での午前授業、7月から通常授業そして給食開始と、このまま順調に進んでくれることを祈っています。

「一緒に過ごせるっていいね」

休業期間中、学習プリントに一人で取り組むことも多かったと思えます。学び、学習の本質とも言える、みんなが集って学び合える、学校生活ならではのよさを感じられるようにしていきたいものです。

学ぶは、「まねる（真似る）」と同じ語源と言われている。「真に似せる」という意味からか、「誠に倣う」の意味から派生したかはわかりませんが、人と人とのかかわりを深く感じさせるものがあります。学習の習、習うは、慣れることです。古語の慣る（なる）が変化して習うになったと言われている。学習とは、お手本のまねをして、それを繰り返して慣れることだと言えます。みんなで一緒に取り組むことで、より継続的にできるのではないのでしょうか。

「やりたいってすごいね」

学習や生活の場面で、新たな意欲をもてたこともほめてあげていきたいものです。

これまで知らなかったことについて考え、探究することで、さまざまな疑問が生まれます。それが意欲へとつながります。学びにとって大事なことは、何が分かっているかではなく、「何が分かっていないか」が分かることだと言えます。自分のことは無自覚なことが多いのが人間というものです。この点でも、友だちとのかかわりの中から、自分のことを意識化することが大事になっています。

「知りたい・やりたい・試したい」という思いを大事にしていきたいと思えます。学びへの意欲があれば、「何のために学ぶか」への答えは明瞭です。それは、どうやったらいいだろうという解決方法を考えることへと導いてくれます。

3密を避けることを教育活動の条件にすると、実施が難しいものが出てきます。「毎日、みんなそろって学校で過ごせることが、何より幸せだね」という日々の過ごし方を大事にして、楽しく過ごせる工夫を考えていきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。